

## 数学概論 2

2007年6月21日分

佐伯 修

### 6月14日実施の小テストについて

問題は

「ユークリッド空間  $\mathbf{R}^3$  の部分集合

$$S^2 = \{(x, y, z) \in \mathbf{R}^3 \mid x^2 + y^2 + z^2 = 1\}$$

(これを **2次元球面** という) がコンパクトであることを示せ。」

でした。20点満点で採点し、平均点は10.2点でした。ちなみに20点満点は12人いました。

ユークリッド空間の部分集合ですので、講義の定理5.4.3「ユークリッド空間の部分集合がコンパクトとなるためには、有界閉集合となることが必要十分である」が使えます。というより、それを使わないとなかなか証明しづらい問題だと言えます。有界性は割りとたやすいですが、閉集合性は定義に戻ってきちんと証明し欲しい問題でした。できなかった人は良く復習をしておいて下さい。

### 練習問題

94.  $X$  を位相空間とする。  $x, y \in X$  に対して、  $x$  と  $y$  を結ぶ弧が存在するとき  $x \sim y$  と書くことにする。すると、この関係 “ $\sim$ ” は同値関係となることを示せ。(なお、この同値関係による同値類を  $X$  の **弧状連結成分** という。)

95.  $X$  を位相空間とする。  $X$  の各点  $x$  とそれを含む勝手な開集合  $U$  に対して、ある弧状連結な開集合  $V$  であって、

$$x \in V \subset U$$

となるものが存在するとき、  $X$  は **局所弧状連結** であるという。

(1)  $X$  が局所弧状連結であれば、  $X$  の各弧状連結成分 (定義は前問を参照) は  $X$  の開集合であることを示せ。

(2) 局所弧状連結な位相空間  $X$  に対し、それが連結となることと弧状連結となることは同値である。これを示せ。

96. 2次元ユークリッド空間  $\mathbf{R}^2$  の部分空間  $X$  を、

$$\begin{aligned} X_1 &= \{(0, y) \in \mathbf{R}^2 \mid -1 \leq y \leq 1\}, \\ X_2 &= \left\{ \left( x, \sin \frac{1}{x} \right) \mid 0 < x \leq 1 \right\} \end{aligned}$$

の和集合  $X_1 \cup X_2$  として定める.  $X$  は連結であるが, 弧状連結ではないことを示せ.

97.  $X, Y$  を互いに同相な位相空間とする.  $X$  が弧状連結であれば  $Y$  もそうであることを示せ.

98.  $\{X_\lambda\}_{\lambda \in \Lambda}$  を位相空間の族としたとき, 直積空間

$$X = \prod_{\lambda \in \Lambda} X_\lambda$$

が弧状連結となるためには, すべての  $\lambda \in \Lambda$  について  $X_\lambda$  が弧状連結となることが必要十分であることを示せ.

99. (1) 平面上の単位円

$$S^1 = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid x^2 + y^2 = 1\}$$

を考える. 点  $a$  を単位円の内側から, 点  $b$  を単位円の外側から取ると, 平面上で点  $a$  と点  $b$  を結ぶ弧は必ず  $S^1$  上を通る. これを示せ.

(2) 上の単位円を今度は

$$\widetilde{S^1} = \{(x, y, 0) \in \mathbf{R}^3 \mid x^2 + y^2 = 1\}$$

のように3次元ユークリッド空間で考える. すると, 原点  $O = (0, 0, 0)$  という円の内側の点と, 点  $P = (0, 2, 0)$  という円の外側の点は,  $\widetilde{S^1}$  に交わらない弧で結べることを示せ.

100.  $\mathbf{R}^2$  と  $\mathbf{R}$  が同相でないことを示せ.

101.  $(X, d)$  を距離空間とする.  $X$  の空でない部分集合  $A, B$  に対して, その間の「距離」を

$$d(A, B) = \inf\{d(a, b) \in \mathbf{R} \mid a \in A, b \in B\}$$

で定める. また,  $x \in X$  に対して,

$$d(x, A) = d(\{x\}, A)$$

と定める.

(1)  $X$  上で定義された関数  $x \mapsto d(x, A) \in \mathbf{R}$  は連続関数となることを示せ.

(2)  $d(x, A) = 0$  となるためには,  $x \in \overline{A}$  となることが必要十分であることを示せ.

(3)  $A$  がコンパクトで  $B$  が閉集合であれば,

$$d(A, B) > 0 \iff A \cap B = \emptyset$$

となることを示せ.

(4)  $A, B$  が互いに交わらない閉集合でも  $d(A, B) = 0$  となることがある. 具体例を構成せよ.